

メジャー & キャリア

Major & Career

メジャー & キャリア

▶ 一覧に戻る

🖨 本文印刷

▶ 南山さん 4回目



< 第四回: アベノミクスを、おばちゃんに伝える >

榎田 今、秘書課で働いていて、今から思えば大学であれを学んでおいて良かったなとか、今あれがすごく活きているなとか、印象に残っているものはありますか？

南山 ICUは一般教養を一通りやるじゃないですか、それは本当に良かったと思いますよ。

メジャーうんぬんで何かを極めるよりも、今のこの仕事の場合では、**一般教養がやっぱり求められます。**



梅原 なるほどー。

南山 それから、勉強そのものではなくて、**勉強の仕方**のようなものをICUで覚えることが出来た事は、とても良かったです。

秘書課は他の課からいろいろな報告を受けて、人にお伝えするときがありますが、その内容が自分にとって馴染みのないものでも、話を聞いて自分の中で咀嚼して伝えないといけない。しかも短期間のうちに。そういう場面では幅広く学んだことはやっぱり生きてくると思います。

全く分からなくても大まかな形がわかると、知らない分野のことで結構すんなり入ってきます。

榎田 では、例えば経済学で学ばれていたことはどういうことが今つながっているなあと思いますか。

南山 例えば、アベノミクスだって、専門的な話は別にして、それをいかにまちのおじいちゃん、おばあちゃん達に分かりやすくかみ砕いてお話をするかとか、あの3本の矢、経済成長と規制緩和と金融緩和それぞれについて、一般の人たちにはどういう風に翻訳していったらいいのかなといった、**かみ砕く部分でICUの学びが生きてくる**と思いますね。

榎田 一般教養で学んだ色んなものがつながってきたりとか、経済学で学ばれていたことをかみ砕いてアウトプットできるという感じですね。

南山 そうですね。

市長って、地元では結構身近な存在なんです。なので、今も土日に市長と一緒にいると、地域の方から「この石碑の裏に書いてあるコレ何だろうね？」といった質問を気軽に受けることがあります。

習志野って旧陸軍の要地だったので石碑が立っていたんです。そこに皇紀2600年と書いてある。市長とは全く関係のない質問ですが、尋ねられることもあるんです。

榎田 私だったら答えられません…。

南山 それを「それはこういうことですよ。」って分かりやすくお答えすると、「へー、そうなんだー。」という風に結構興味深く聞いてくださるので、間違えたことは言えません。

そのような急な対応にも、自分の経験と、教養とで対応できるんだなあと思いましたね。でも**教養がないと、気づくものも気づかない**。

梅原 専門知識を深めるだけでなく、なるべく幅広い分野に馴染むこともまた重要なですね。



南山 そうそう。去年夏休みに沖縄に行ったんですが、そこでもつい特別養護老人ホームに目が行ってしまうんですよ。せっかくりゾート地に来ているのに(笑)。

一同 笑

南山 私にとってはリゾートでもやっぱりそこに生活している人がいるので、こういうものが必要なんだなって。地方の方が高齢者の方が多くて危機感も高いです。

そういうところの施策が、自分のまちではこう置き換えられるのかなっていうのが見えてくるんですよ。全部を今の仕事にそのままアウトプットできるわけではありませんが、学生時代いろいろなものを経験して観察したことが役に立っていることは多いです。

つまらないと思ってやっていたことでも、意外と役にたつものですね。

榎田 なるほど、面白いですね。

ところでICUでは2008年から学科がなくなり、31のメジャー制になりました。

3年に進学するときにメジャーを選択するのですが、これだけ選択肢があるとやっぱり迷うんです。自分の興味のあるメジャーが将来役に立たないのではないかと不安になったりして……。

どのように選ぶべきか、アドバイスを頂けますか？

南山 本当にこれがやりたいって1個しかないなら、それをやればいいと思います。

でも、将来こういう企業に行きたいんだけど、その業界とは関係のないメジャーを専攻しているから、じゃあそれが全然役に立たないかっていうと、決してそんなことないと思っています。

やっぱり**自分が好きなもの**をやったほうが**大学生活楽しい**と思いますね。

榎田 そうですよ。

南山 自分で就職のためだからとか、その先のことを考えてメジャーを選んでも、好きなものじゃないと頭の中に入っていないと思います。

榎田 義務感でやってしまう。



南山 義務感でやらされるものと、自分が好きでやったものとは、好きでやったものを勉強した方が自分も楽しいし、自分の身にもなりますから。

私自身も、大学の時にそこまで深くは考えていませんでしたが、今改めてそういう風に聞かれると、好きなことをやったらいいと絶対おすすめします。

梅原 しかし、逆に興味のあるものが多すぎて一つや二つに絞れない、という悩みもあります。

南山 それなら好きなものの中で、一番興味のあるものから始めて、途中で変えるというのも

全然構わないと思います。5年間かけて卒業するんだったら5年間かけて卒業すればいいと思いますし。

自分の将来なんて、2年3年後だって分からないですし、まして10年20年先なんてもっと分からないですよ。

まあ、分からないとは言っても考えなくちゃいけないんですが、そのために今の行動を縛られるのは自分にとってマイナスだと思います。

榎田 今の自分の興味の赴くままにやったほうがいいのかということですね。

南山 与えられたものとか、興味があるものを、自分の今の環境で自分の興味の赴くままにやればいいのかと思います。ICU生は皆そのポテンシャルを持っていると思いますよ。

自分が言うのもなんですが、ICU生は皆そういうところで応用がきく人がそろっていますから、あまり心配しなくて大丈夫です。もう入っている時点でそこは太鼓判押されていると思って。

榎田 職業に役立つメジャーはあると思いますか？

南山 あるとは思いますが、必ずしもそのメジャーを選択したからといって、就職で役立つかどうかは別問題だと思います。

例えば金融業界に入りたいから経済学を選択したとしても、企業が採用を決める時の事を考えたら、無いよりはましなのでしょうが、でもそのくらいのことだと思いますよ。

榎田 あとは自分次第ですね。

南山 そうですね、同じメジャーでも皆が皆卒論が同じテーマではないですよ。

31のメジャーがあると言っても、大学が決めたものがたまたま31あるというだけです。

一個一個の中でもっと細分化されていると思いますが、それらと先の仕事が一一致する人ってほとんどいないと思います。

梅原 あー、それはたしかにそうですね！

南山 私はマクロ経済学と、市役所の仕事ははっきり言って全くかみ合っていないと思いますけど、それはそれでとても良かったと思っています。

経済学を専攻したことについて後悔したことはないですね。行政学や公共政策はもう少し勉強の方が良かったかなとは思いますが。

でもそれらをメジャーにしたかったかという、その当時はしてないと思いますし、そうしていたら自分はまた違う道を選んでいたらかもしれないですね。



榎田 メジャー選択と将来の人生は、やはり結びついているものなのではないでしょうか。

南山 社会人の立場になってみると、受けてくる学生が何をやっているかということはあまり関係ないですよ。

採用理由の一つにはなるかもしれませんが、決定打には絶対ならないと思いますから。

だから興味があること、好きなことをやっている姿を見せたほうがアピールになるんじゃないでしょうか。

榎田 たしかに、そうですね。

南山 そのためには勉強でも何でも何かしら関わってみて、その中から一番好きなもの、これだったら興味持てるかな、というものから始めていけばいいんじゃないでしょうか。

だから思い切り悩んで！でもただ「どうしよう、どうしよう」って悩むのではなく、もう少し合理的に、これとこれとこれが好きだから、というような判断材料を自分の中で考えてから迷って決めたほうがいいですよ。

榎田 では改めて最後に、メジャー選びに迷っている学生にアドバイスをお願いします。

南山 **自分に素直になればいい**と思います。

将来の事を考えすぎないで、今の自分が何をしたいのかを考えて、やりたいことを選ぶのが大学生の特権です。仕事や就職の事ばかり考えて勉強するのは損ですし、面白くないと思います。

もちろん今はこういうご時世ですから、就活の時に例えばこの資格を持っているからとか、こんな専門知識があるからとか、そんな側面から選ばれるようになるかもしれません。なので、あるに越したことはないのかもしれませんが。

でも、一番大事なのは、自分の人間的なものというか、「**ぜひこの人と働きたい**」と思ってもらえるような人になっているか、という視点だと思います。って、あまり偉そうなことは言えないですけどね(笑)。

榎田 確かに、人間的な魅力が一番大事ですね。

本日はどうもありがとうございました。

<おわります>

<感想は majorandcareer★gmail.com まで>

★を@に置き替えて下さい

もくじ

[第一回 きっかけは、スペインで読んだ日経新聞](#)

[第二回 “人の顔が見える”仕事をしたい](#)

[第三回 公務員という仕事と、まちを歩くこと](#)

[第四回 アベノミクスを、おばちゃんに伝える](#)

ツイート